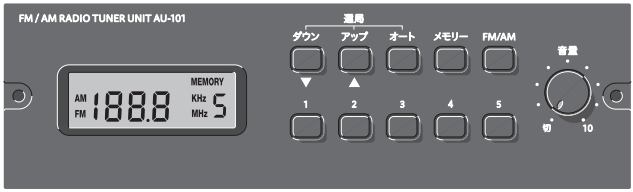
UNI-PEX

ワイドFM対応

FM/AMラジオチューナーユニット

取扱説明書(保証書付)

AU-101



このたびは、当社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

- ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(上図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに組込機器の電源を切り、販売店などにご連絡ください。

取付作業、及びお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

専用機器以外に接続しない

この機器は専用機器に組み込んでご使用いただくように設計されています。
専用機器以外に接続すると火災、感電、けがの原因となります。

分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。

表示部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源を切り、販売店などにご連絡ください。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

コネクターを抜くときは、コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずコネクターを持って抜いてください。

取り付ける機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って取り付けてください。

1年に1回程度は内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

設置・使用上のご注意

- ●湿気の多い所や温度の高い所、ホコリの多い所での使用はなるべく避け、通風のよい場所に設置してください。
- ●本機を雑音発生の原因になる機器※の近くには設置しないでください。

※テレビ受像機や無線装置、高周波機器(乾燥機、医療機器など)、電気溶接機、ブラッシングモータ、自動車の通る道,デジタル機器(コンピュータ、電子楽器など)、空気清浄器。

- ●本機は車載用には使用できません。

免責事項について

当社は下記の事項に関して一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

①お客さまの故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害または本製品の破損など。

②本製品に直接または間接に関連して生じた、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害。

③本製品のお客さまご自身による修理、分解または改造が行なわれた場合、それに起因するかどうかを問わず、発生した一切の故障または不具合により生じた損害。

④本製品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、使用ができないことなどによる不便・損害・被害。

⑤第三者の機器と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。

本機を長期間お使いの場合は

本機を安全に使用していただくために、販売店または工事業者による定期的な点検をおすすめします。外観上は異常がなくても、使用条件によっては部品が著しく劣化している可能性があり故障したり、事故の原因となることがあります。下記❶～❹の様な状態ではないか日常的に確認してください。もしその様な状態を発見されましたら、直ちに電源を切り（使用中止）、販売店または工事業者に点検や撤去をご依頼ください。

特に10年を超えて使用されている場合は、定期点検の回数を増やしていただくとともに、買い換えの検討をお願いします。

❶煙が出たり、こげ臭いにおいや異常な音がしている。

❷接続コード・コネクターが異常に熱い。または亀裂や傷がある。

❸本機に触れるとビリビリと電気を感じる。

❹電源を入れても音が出てこない、その他の異常・故障がある。

特長

●本機は対応した機器に組込んで使用する、シンセサイザー方式のFM/AMラジオチューナーユニットです。

●ワイドFM（FM補完放送）に対応しています。

●バックライト付きLCD(液晶表示器)を使用し、表示により選局操作が簡単で正確に行えます。

●プリセットメモリー機能により、FM/AMの各バンドに5局ずつ、合計10局の放送局をメモリー（記憶）させることができます。

●プリセット選局機能により、簡単な操作で正確に放送局が選択できます。

●音声被制御/通常切換ピンにより、ラジオの音声入力を被制御と通常に切換が可能です。（対応機器のみ）

各部の名称と説明(前面)

メモリースイッチ
放送局の周波数をメモリー(記憶)するときに使います。

自動選局スイッチ
このスイッチを押すと、周波数の低いほうから高いほうへ順番にサーチします。放送が受信されると止まります。

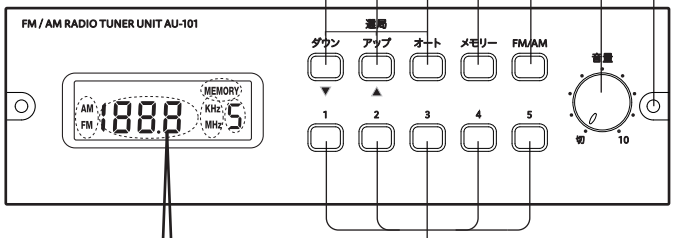
周波数アップスイッチ
周波数が高くなります。手動で受信周波数を合わせるときに押します。

周波数ダウンスイッチ
周波数が低くなります。手動で受信周波数を合わせるときに押します。

FM/AM切換スイッチ
FM放送とAM放送のバンドを切換えます。

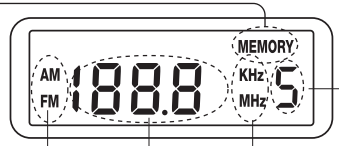
電源スイッチ/音量調節つまみ
電源スイッチと音量調節つまみを兼用しています。ご使用にならないときは必ず「切」位置にしてください。
下記の「電源スイッチについて」をご覧ください。

取付穴
P6の「組込方法」をご覧ください。



メモリー選局スイッチ(1～5)
放送局の周波数のメモリー(記憶)およびメモリーした放送局の周波数の呼び出しに使用します。

表示部の説明



メモリー可能表示
メモリースイッチを押すと表示し、メモリー可能であることを示します。

メモリー番号(1～5)表示
選択されたメモリー番号を表示します。

バンド(AM/FM)表示
AM/FM切換スイッチを押すごとに切換わります。

周波数表示

周波数単位表示
FM放送の時はMHz、AM放送の時はkHzに表示が切換わります。

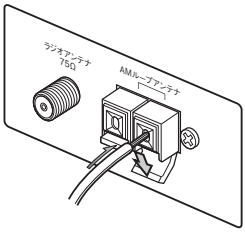
電源スイッチについて

●本機の電源が入りますと電源制御機能がはたらきます。組込機器にCDプレーヤーユニットAU-200シリーズ(被電源制御ユニット)が一緒に収納されている場合は本機の電源が入りますとAU-200シリーズの電源が自動的に切れます。本機をご使用にならないときは、本機の音量調節つまみ(電源スイッチ兼用)を必ず「切」位置にしてください。

各部の名称と説明(後面)

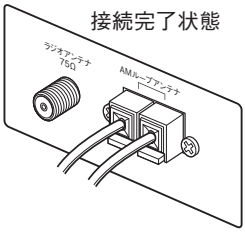
AMループアンテナ端子
付属のAMループアンテナ(AM放送受信用)を接続します。
P9の「AMループアンテナ(付属)について」をご覧ください。

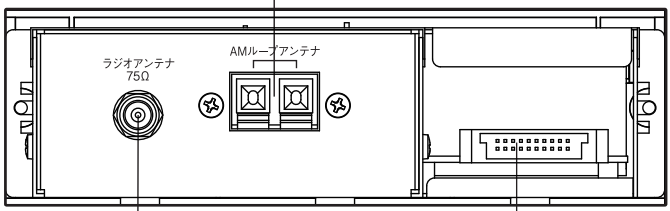
①
端子のレバーを下げて
AMループアンテナ
(付属)の接続コードの
芯線を差し込む



②
端子のレバーを
上げて芯線を
固定する

接続完了状態

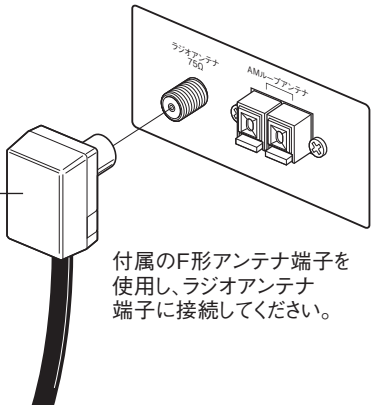




接続コネクター
本機をユニット挿入口に装着し、軽く押し込みますと、挿入口内部のコネクターに接続されます。P6の「組込方法」参照。

ラジオアンテナ端子
外部アンテナをラジオアンテナ端子に接続してください。接続線は必ず同軸ケーブルを使用してください。

F形アンテナ端子(付属)
同軸ケーブルを使用してラジオアンテナと接続してください。
P6の「付属のF形アンテナ端子の接続のしかた」をご覧ください。

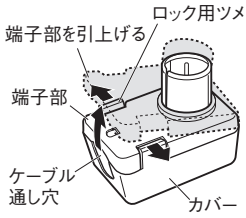


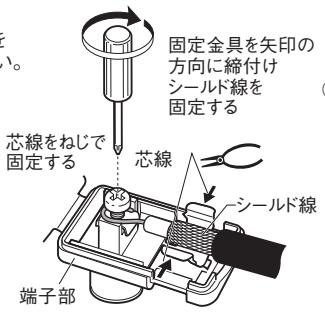
付属のF形アンテナ端子を
使用し、ラジオアンテナ
端子に接続してください。

付属のF形アンテナ端子の接続のしかた

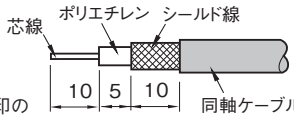
付属のF形アンテナ端子に同軸ケーブルを下記の要領で接続してください。
適合同軸ケーブルは3C-2V、または5C-2Vです。

①
カバーのロック用ツメ(2ヶ所)を開き、端子部を引上げてください。

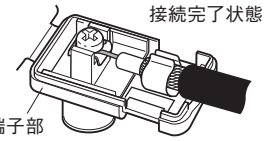




■同軸ケーブル末端処理寸法 (単位:mm)



②同軸ケーブルの末端を上記の寸法に処理し、芯線とシールド線部分を下図と左図のように固定して元どおりにカバーを閉めてください。



組込方法

⚠警告 取付作業をおこなう場合は必ず、組込機器の電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1.本機を組み込む機器の前面のユニット挿入口と後面のアンテナコネクター部の両ブランクパネルを各々2本の取付ねじをはずし取り除いてください。はずしたねじ(M3×8)は本機を固定するときに使用しますので紛失しないようご注意ください。

2.本機を組込機器前面のユニット挿入口に挿入し、軽く押し込んで本機の接続コネクターを挿入口内部のコネクターに接続してください。

3.本機を「1.」ではずした2本のねじで固定してください。(図1参照)

4.本機後面のアンテナコネクターにアンテナを接続してください。(図5参照)

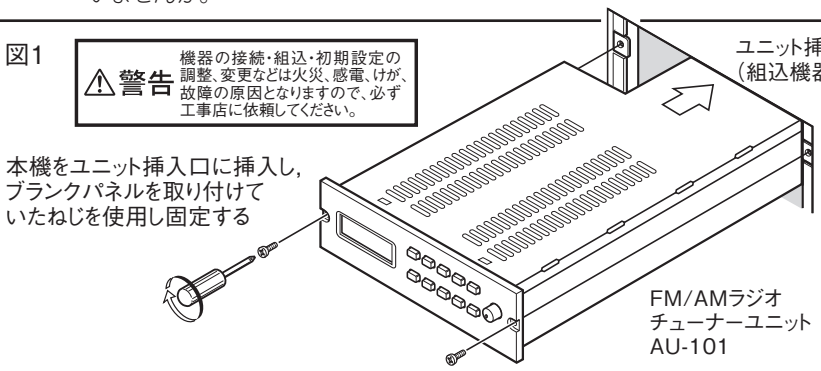
ご注意 ●本機をねじで固定する前に、必ず本機後面のコネクターが組込機器側のコネクターに確実に接続されているか確認してください。確認事項は以下のとおりです。

・本機前面パネルと組込機器の挿入部周辺が同一面に揃っていますか。

・本機後面のパネル(アンテナコネクター部)が組込機器後面の角穴部からずれていませんか。

図1

⚠警告 機器の接続・組込・初期設定の調整、変更などは火災、感電、けが、故障の原因となりますので、必ず工事店に依頼してください。



「被制御」を「通常」に変更する場合

●本機は組込機器本体のオートマチックフェーダー回路のはたらきで自動的に音量が減衰する「被制御」に設定されてます。自動的に音量が減衰しない「通常」で使用される場合は本機後部の基板上のジャンパーピンを「通常」側に差し換えてください。

■ジャンパーピンを通常側に差し換える場合

◎本機を既に機器に組み込まれているときは本機を組込機器より取りはずしてください。

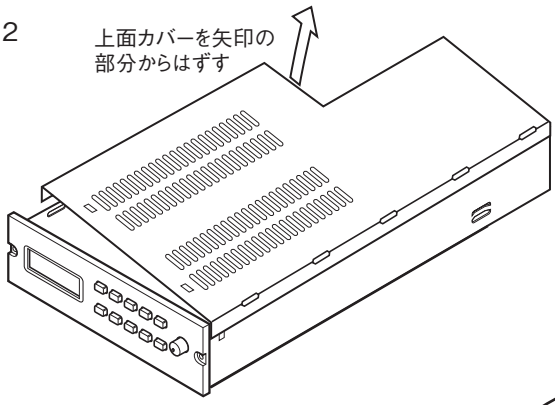
1.本機の上面カバーをはずしてください。(図2参照)

2.本機内部のスロット基板上のジャンパーピン(J1)を差し換えてください。(図3、4参照)

3.「1」ではずした上面カバーをもとどおり取り付けてください。

4. P6の「組込方法」の説明をご覧になり、本機を機器に組み込んでください。

図2



⚠警告

機器の接続・組込・初期設定の調整、変更などは火災、感電、けが、故障の原因となりますので、必ず工事店に依頼してください。

図3

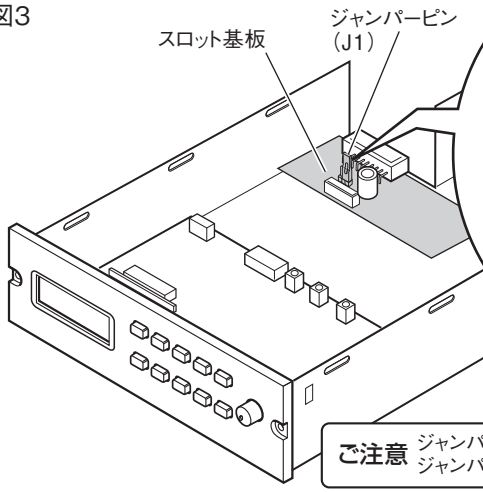
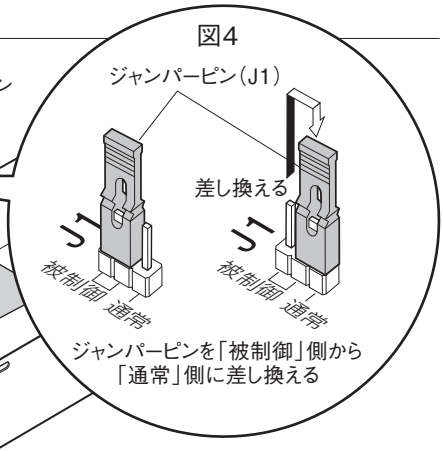


図4



ご注意 ジャンパーピンを接続しませんと音声が出力されません。
ジャンパーピンを紛失しないようにご注意ください。

アンテナの接続のしかた

⚠警告 機器の接続・組込・初期設定の調整、変更などは火災、感電、けが、故障の原因となりますので、必ず工事店に依頼してください。

FM放送を受信するとき

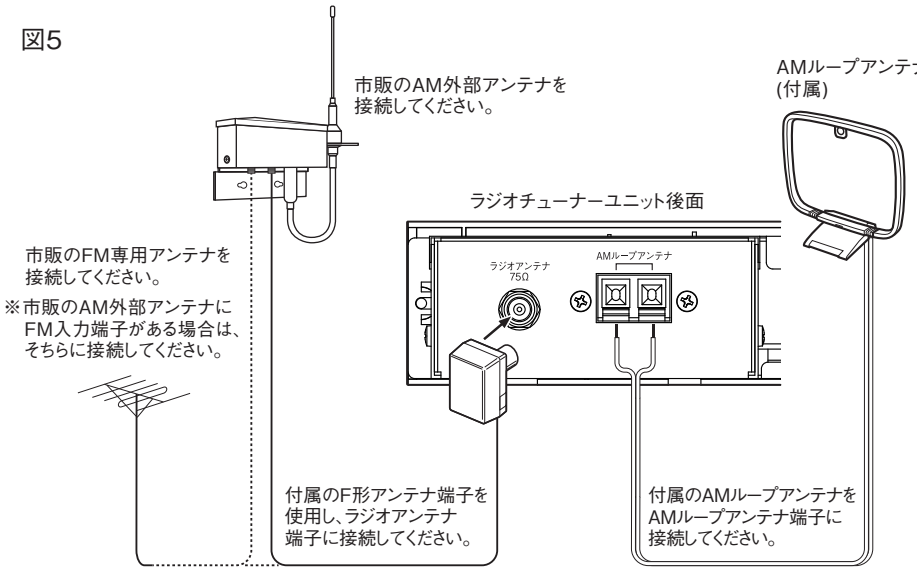
・FMアンテナをラジオアンテナ端子に接続してください。接続線は必ず同軸ケーブルを使用してください。
・FM放送を良好に受信していただくために、市販のFM専用アンテナを設置されることをお勧めします。
・市販のAM外部アンテナをラジオアンテナ端子に接続し、AM外部アンテナにFM入力端子がある場合はそちらにFMアンテナを接続してください。接続線は必ず同軸ケーブルを使用してください。

AM放送を受信するとき

・付属のAMループアンテナの接続端子を本機のAMループアンテナ端子に接続してください。
・AMループアンテナで充分に受信できない場合はAM外部アンテナを設置してください。接続線は必ず同軸ケーブルを使用し、ラジオアンテナ端子に接続してください。（図5参照）

注）AMループアンテナはAM外部アンテナを接続される場合でも接続しておいてください。

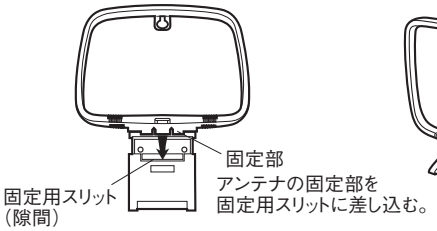
図5



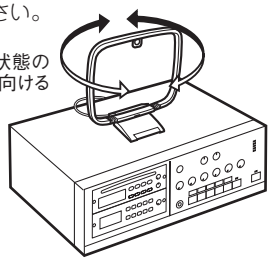
AMループアンテナ（付属）について

AMループアンテナの組み立てかた

① アンテナを組み立てる。



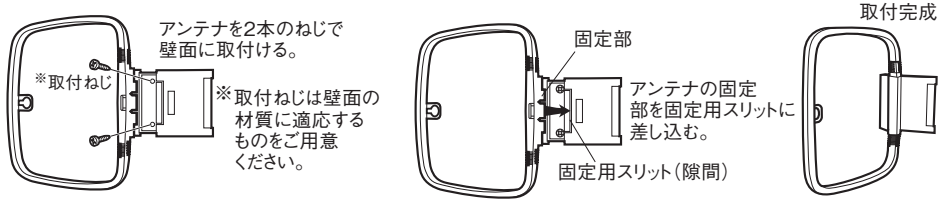
●AMループアンテナを組み立て、機器に接続してください。アンテナをもっとも受信状態のよい方向に向けてください。



AMループアンテナの壁面取付方法

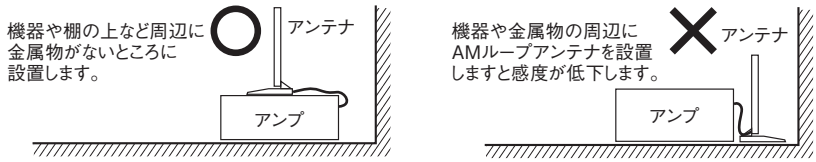
●機器がラックなどに設置される場合は、AMループアンテナを機器の近くの受信状態の良い場所に設置してください。

① アンテナを2本のねじで壁面に取付ける。② アンテナを垂直に固定する。

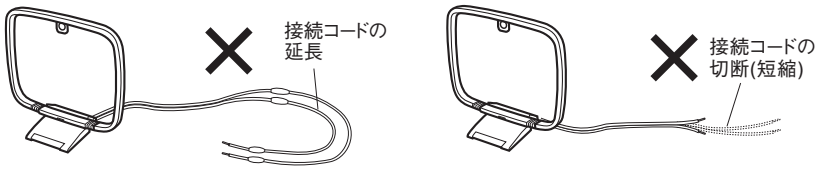


AMループアンテナの設置上のご注意

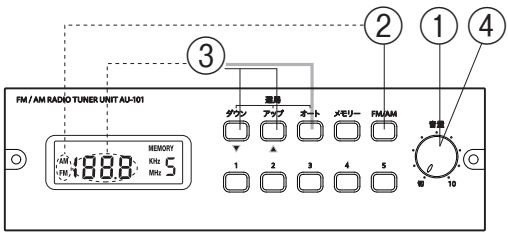
AMループアンテナを機器または金属物の周辺に設置しますと感度が低下します。
AMループアンテナは機器または金属物から離して設置してください。



AMループアンテナの接続コードは切断したり、延長したりしないでください。また、付属のAMループアンテナ以外のアンテナは使用しないでください。充分な感度を得られません。



使い方



①電源を入れる

音量調節つまみ（電源スイッチ兼用）を切の位置から右まわしにしますとカチッという音がして電源が入り、表示部に各表示が表示されます。

②受信するバンドを選ぶ

FM/AM切換スイッチを押し、表示部のバンド(FM/AM)表示を受信するバンドに切換えてください。

③受信する放送局の周波数に合わせます

・手動選局の場合

周波数アップスイッチまたはダウンスイッチを押して希望の放送局の周波数に合わせてください。周波数アップスイッチまたはダウンスイッチを0.5秒以上押し続けると連続して周波数が変化します。

・自動選局の場合

自動選局スイッチ(オート)を押して希望の放送局の周波数に合わせてください。自動選局スイッチを押しますと、周波数の低い方から高い方へ順番にサーチします。放送が受信されると止まります。

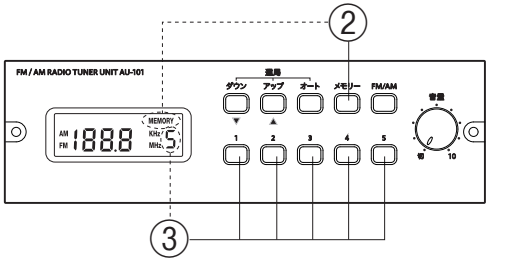
④音量を調節する

電源スイッチ／音量調節つまみをまわし適切な音量に調節してください。

ご注意・・・・

●ラジオをご使用にならないときは、電源スイッチ／音量つまみをOFFの位置(左いっぱいカチッという音がするまでまわした位置)にして電源を切っておいてください。

放送局のメモリーのしかた



●放送局の周波数をFM/AMそれぞれ5局(計10局)記憶させることにより、選局はメモリー選局スイッチ(1～5)を押すだけでワンタッチでおこなえます。次の要領で放送局の周波数をメモリー(記憶)してください。

①上記の「使い方」の①～③手順で記憶させたい放送局の周波数に合わせてください。

②メモリースイッチを押してください。表示部右上にMEMORYの表示が約4秒間表示されます。

③MEMORYが表示されている間に、ご希望のメモリー選局スイッチ(1～5)を押して記憶させてください。表示部のMEMORY表示が消え、押したメモリー選局スイッチの番号が表示されます。

点検方法

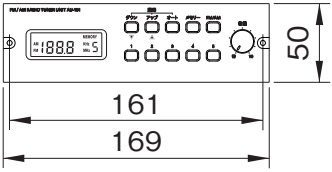
ほんのちょっとしたことで正常に動作せず、故障かな?と思うことがあります。次の要領で点検してみてください。

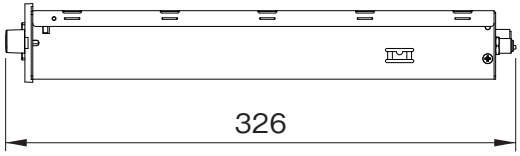
症　　状	点　検　項　目	対　　策
全く動作しない	組込機器の電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	ディスプレイ表示灯が点灯していますか。	組込機器の電源スイッチを入れてください。
		電源スイッチ兼用の音量調節つまみで電源を入れてください。
音声がでてこない	音量調節つまみが最小になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
	目的の放送局に選局されていますか。	P10の「使い方」をご覧になり、正しく選局してください。
	アンテナは接続されていますか。	接続を確認してください。

定格

使　用　電　源	DC 12V 組込機器本体より受電
消　費　電　流	200mA以下
受 信 周 波 数	AM:531～1602kHz／FM:76.0～108.0MHz
アンテナ入力	AM:ループアンテナ ／ FM:75Ω
実　用　感　度	AM:30dBμV(1kHz　30%変調 S/N比20dB) FM:12dBμV(1kHz　75kHzFM S/N比30dB)
定　格　出　力	−20dBV
使用温度範囲	0℃～+40℃
外　　装	パネル:(ABS樹脂)黒色半艶塗装
寸　　法	幅169mm、高さ50mm、奥行326mm
質　　量	約920g
付　属　品	取扱説明書（保証書付)1、AMループアンテナ 1、F形アンテナ端子 1

外観寸法図 （単位:mm）





サポートのご案内

■ **修理・お取扱い・お手入れについてのご相談・ご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。**

販売店に修理を依頼する場合は、下記の項目をお確かめください。

①品　名　②品　番　③**お買い上げ日**　④**故障の状況**（できるだけ具体的にお願いします）

■ **販売店がご不明な場合は、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。**

営業所情報はホームページもしくは2次元コードにアクセスしてください。
https://www.unipex.co.jp

■ **その他ご不明な点は、お客様ご相談センターへご相談ください。**

UNI-PEX お客様ご相談センター

0120-56-5245（通話料無料）

受付時間／9:00～17:00（土・日・祝日除く）

携帯電話からのご利用は、
072-855-3334（通話料がかかります）

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様ご相談センターにおけるお客様の個人情報は、ご相談対応、修理およびその確認に使用いたします。個人情報は適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供または開示いたしません。

FM/AMラジオチューナーユニット　AU-101　保証書

製造番号	
保証期間	お買い上げ日 年　月　日より 電子回路部1ヶ年、ケース(外装部) 6ヶ月
お客様	お名前 見本　様 ご住所　〒 電話(　　)　-
販売店	店名・住所 印 電話(　　)　-

本書は本書記載内容で無料修理を行なうことを保証するものです。お買い上げの日から上記期間内に故障が発生した場合は本書を提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

製造元 日本電音株式会社
発売元 ユニペックス株式会社
〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-6　TEL.(072)855-3334(代)

保証規定

この保証書は日本国内においてのみ有効です。この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
（This warranty is valid only in Japan）

無料修理保証の範囲

①保証期間内において、取扱説明書などに従った正常な使用状態において故障した場合に無料で修理いたします。
②修理の際は必ず保証書の提示があること。
③当保証書の所定項目に必要事項が記入され、故意に字句を訂正していないこと。

無料修理保証の免責範囲

（次のような場合は保証期間内でも有料修理となります。）
①使用上の誤り及びお取扱いの乱用などによる故障、磨耗。
②不当な修理改造による故障、損傷。
③正常なご使用でも、消耗部品の自然消耗、磨耗、劣化によるもの。
④お買上げ後の落下、傷など、お取り扱い上に起因するもの。
⑤火災、水害、落雷、地震、その他の天災によるもの。また塩害、有毒ガス、異常電圧などが原因の損傷。
⑥故障の原因が本製品以外の機器の影響によるもの。
⑦常識的に正常な動作状態であるにもかかわらず、修理または部品交換などの要求をされる場合。